様式第2号(第81条関係)

番地

(その1)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 土地評価調書 | 評価年月日 | 年　月　日 |
| 評価担当者職氏名印 | ㊞  |
| 所在 |  　　都道　　市　　町大字 　　府県　　郡　　村　字 | 財産の名称 |  |
| 評価額 | 円 | 地積 |  |
| 単価 | 円 |
| 財産の概要 |  |
| 土地の状況 | 位置及び立地条件 | 形状 | 地表の状況 |
|  |  |  |
| 基準単価の算定 |
| 区分 | 計算 | 価格 |
| 固定資産税課税台帳価格から算定した価格(A) |  | 円 |
| 相続税の課税の基礎となる価格から算定した価格(B) |  | 円 |
| 売買実例価格から算定した価格(C) |  | 円 |
| 土地価格推移指数から算定した価格(D) |  | 円 |
| 官公署、金融機関その他精通者の評価(E) | (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) |
| 円 | 円 | 円 | 円 |
| 基準単価 | 円 | 決定理由 |  |
| 基準貸付、借受料の算定 |  |  |

備考　1　評価は、一体として利用される一団地を単位として行う。土地が2以上にわたるときは、何番地ほか何筆と記載し、1筆ごとの明細は余白に記入するか、又は別紙として添付する。地積が広大で評価単位を異にする必要のある場合は、その異なる区域ごとに評価を行う。

　　　2　財産の概要欄には、沿革その他一般的状況について記入する。

　　　3　位置及び立地条件欄には、当該土地付近の目標からの方向、距離及び使用目的に対して、当該土地の有する条件を記入する。

　　　4　形状欄には、間口及び奥行の長さ並びに方形、矩形、三角形、多角不整形等の状況を記入する。

　　　5　地表の状況欄には、その土地がそのまま直ちに使用できる状況にあるか、整地を要する状況にあるか等を記入し、整地を要する場合は、その程度及び費用の見積額を記入する。

　　　6　基準単価の算定に当たっては、できる限り広く資料を集め、土地の位置、立地条件、形状、地表の状況並びに必要性及び市場性を総合勘案して妥当な価格を決定する。

　　　7　決定理由欄には、当該基準単価を採用した理由を記入する。

　　　8　不要の文字は、消すこと。